



# 学校だより

横浜市立釜利谷中学校

発行日 2020年11月5日(木)

発行者 学校長 栗田智則

所在地 金沢区釜利谷南3-5-1

電話 784-7311 FAX 783-9762

URL <http://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/jhs/kamariya/>

## 努力は己を裏切らない

校長 栗田智則

二十四節気の暦上では、間もなく「立冬」(11月7日)を迎えます。木々の紅葉も鮮やかで、朝晩の冷え込みにも季節の移り変わりを感じるようになりました。新型コロナウイルスの第2波が猛威を振るっている欧州では、ロックダウンを宣言する国があると報道され、国内においても依然として終息の様相はみられませんが、感染症予防対策である①感染源を絶つ(毎日の検温と健康観察)②感染経路を絶つ(手洗いの励行、マスク着用、ソーシャルディスタンス、3密の回避、部屋の換気など)③免疫力を高める(十分な睡眠、栄養バランス、適度な運動など)を引き続き心がけ、本格的な冬の到来に備えていきたいものです。

中学校では、わずか2週間という短い夏休みを経て2学期が始まり、感染予防対策を講じながら、体育館において文歌祭を開催、体育大会の代替行事をそれぞれ学年別で開催しました。また、3年生の北海道修学旅行や2年生の校外学習(マザー牧場)をGo toトラベルの適用を受けて実施しました。環境をテーマに1年生も校外学習(八景島)を実施することができました。どの行事でも真剣に取り組む生徒の姿や素晴らしい笑顔を多くみることができました。(各行事については、担当者より報告します)

日々の学校生活の中で自分自身の課題に取り組み、挑戦している姿はとても輝かしいことです。しかし、がんばっているのに……と壁を感じることもあるかもしれません。11月の朝会では、水泳男子高飛び込みで日本選手権連覇を果たした玉井陸斗選手の好きな言葉「努力は己を裏切らない」を紹介しました。また、元サッカー日本代表の本田圭佑選手のある取材に対して答えた言葉も抜粋してあわせて紹介しました。『困難に直面した時や落ち込んだ時は、どう立ち直るのか?』との問いに対して本田選手は「その時は完璧主義<sup>かんべき</sup>を捨てる。ダメージを受けてる時に、完璧主義<sup>かんべき</sup>を維持するとマイナスにしかならない。乗り切るには開き直るんですよ。完成度の高さを捨てハードルを下げていいんで、とにかく前向きに、その状況をドライブすることにフォーカスする。質とか点数にこだわらない。僕がいつも言ってるのは、結果にこだわるな、成功にこだわるな、成長にこだわれ。なぜなら、絶対にやったら成長はするので。成功はまた別問題」と答えました。どちらも、今自分自身がやれることを着実に取り組む大切さを語っていると感じます。秋テストが予定されている11月。3年生にとっては大切な進路決定の時期を迎えます。生徒の皆さんにとって、「今からできる努力」「今できる学び」「今からできる学び」の参考にしてみしてほしいと願っています。

## ◇ 第7回文歌祭を終えて

実行委員長 浦崎未菜

休校期間明けの6月23日、令和2年度の第一回文歌祭実行委員会が開かれました。今年の文歌祭がどうなるのか、まだ誰もわからない中、集まった面々はどこか緊張した面持ちでした。もしかしたらまた休校になってしまうかもしれない、合唱ができないかもしれない、という不安の中で文歌祭実行委員になってくれた彼らと、こんなことを約束しました。「これから、どんな状況がやってくるかわからない。無理はせず、でも自分たちに出来ることを一生懸命やろう」その日から私たちの「前例のない文歌祭」を創り上げる日々が始まりました。

決まったスローガンは「天歌一品 ～今、響かせよう～」。限られた環境を嘆くのではなく、今私たちにできる精一杯の歌声を校舎に響き渡らせよう！という思いが込められた、とても力強いものでした。感染症拡大防止の観点から学校開催となったことで、特に3年生は最後の文歌祭をよこすか芸術劇場で実施できない悔しさもあったことと思います。それでも前を見て、前例のない文歌祭を成功させるという確固たる意思が感じられ、身が引き締まる思いでした。



そして、決していつも通りとは言えない環境の中、文歌祭準備が進みます。まずはクラスでの選曲。空白の2ヶ月間を自宅で過ごした生徒たちにとって、「クラスらしい曲」を選ぶということは、簡単ではなかったはずですが。それでも、選曲係が中心となって、続々とクラス曲が決定していきました。曲が決まると、指揮者・伴奏者の練習が始まります。並行して、クラスの代表者によるポスターコンクールの作品づくりや、めくりの制作が始まりました。それぞれ遅れて始まった学習、部活動、進路準備などで忙しい中時間を割いて、クラスのために努力を重ねてくれました。この場を借りて感謝します。ありがとうございます。

9月になると文歌祭特別時程が始まり、クラスや部活動毎の活動も本格化してきました。練習中は暑い中マスクを着用し、密を避け、同じ方向を向いて歌うなど、これまでと比べられると信じられないほど多くの制限がある中で、生徒たちには練習中、口に出せない不満もあったかと思えます。ご家庭でのご理解とご支援、本当にありがとうございます。環境的な問題やクラス毎の課題を乗り越え、実行委員や指揮者・伴奏者、パートリーダーなどを中心とし、練習は進んでいきました。

9月下旬には、本番当日の発表順を決める伝統の「抽選会」も開催されました。通常、全校が体育館に集まり行われる会なので、当初は中止とする案もありました。しかし、一箇所に集まれないからこそ釜利谷中のみんなが繋がっていることを実感できる機会を作ろうと、全校生放送による抽選会を実施することとなりました。観客の反応が見えない分、特に司会の2人には臨機応変な対応が求められ難しさもあったと思いますが、抽選会が上手く行くよう自主的に遅くまで原稿作りをするなど、3年生らしい頼もしい態度で臨んでくれました。当日は歓声が学校中に聞こえるほどの盛り上がりで、初めての試みは大成功を収めました。

本番に向けての合唱練習が佳境を迎える頃、7組交流合唱と文化部の発表の収録が行われました。文歌祭が学年別開催となったことで、当日学年を跨いで集まる発表が不可能となり、7組交流合唱と文化部の発表は録画放送となったからです。例年と比べ大幅に削られた練習時間の中で全力を尽くし、いつもと違い観客が少ない中でも戸惑うことなく堂々と自分達の発表を行った彼らは、とても誇らしかったです。美術部の面々も、例年より限られたスペースでの展示となったことをものともせず、放課後楽しそうに展示準備をしてくれました。



7組の交流合唱の発表



吹奏楽部の発表

そして迎えた10月7日、文歌祭当日。当日までクラスの仲間に内緒にしていたハンドベルを手に持って、実行委員が校舎全体に校歌を響かせます。実行委員のオープニングセレモニーで、第7回文歌祭が幕を開けました。当日は2年生、3年生、1年生の順で学年別合唱発表を行い、発表の前後に、7組交流合唱と文化部の発表映像を鑑賞しました。リハーサルではフェイスシールド着用による声の反響や息苦しさなどから声が小さくなってしまったクラスも多かったのですが、本番ではそのハードルを乗り越え、それぞれの今、全力の歌声を響かせてくれました。

当日の生徒の勇姿を、保護者の皆様に直接お見せできなかったことが残念でありませんが、今回の特別な文歌祭を通して学んだことや成長した面は、生徒一人ひとりの中に確かにあると感じています。今後の活動やお子さまの様子を通してお伝えできればと考えています。



フェイスシールドをして合唱発表



美術部の展示



合唱部の発表

今回の文歌祭は何もかもがいつも通りにならず、生徒たちにとって運営からクラス合唱まで、正解のないものを模索し続ける難しさがああったと思います。中でも一生懸命に活動する生徒たちの姿を見て、どんなことでも、どんな状況でも一生懸命取り組む大切さを、私自身改めて実感しました。感染症対策と文歌祭の開催の両立という難しい状況でも、最後まで心が折れることなく文歌祭当日を迎えられたのは、実行委員を始めとする周りの仲間の頑張る姿が見えたからではないでしょうか。頑張るだけが正解ではないかもしれないけれど、頑張っている人は応援したくなる、そんな単純なことを、自分自身の経験から覚えていてくれたら嬉しいと思います。

最後になりましたが、今回の文歌祭実施につきまして、保護者の皆様の多大なるご理解、ご協力をいただき誠にありがとうございました。今後とも生徒が活躍し輝ける学校であるよう応援をどうぞ宜しくお願いいたします。

#### ◇ 2年生体育大会代替行事を行いました (10月13日)

2年担当 舛野雄大

数日前までの悪天候の予報も、生徒たちの体育大会に対する熱意を映すかのように晴天となり、無事に10月13日の午前中に2学年の体育大会代替行事が開催されました。今年度の体育大会は、感染症拡大防止の観点から学年別の半日開催という、異例な形で行われましたが、2年生の皆さんは楽しむことができたでしょうか。



短い準備期間と当日の限られた環境の中で、体育大会を開催するというのは、非常に難しいことではあると思いますが、実行委員を中心に、各クラス一丸となって全力で競技に取り組む姿勢にはとても感動しました。「どんなことにでも全力で取り組める」という所が2年生の素晴らしいところだと思います。短い準備時間の中で精いっぱい行事を盛り上げようと尽力してくれた実行委員、そして、すべての種目に全力で取り組み、感動を与えてくれた2年生の皆さん、お疲れ様でした。まだまだ、たくさんの行事が残されていますが、これからも皆さんの力で盛り上げて素晴らしいものにしていきましょう。



今回の体育大会は、保護者参観なしという形で開催されました。地域・保護者の皆さまに生徒たちの頑張る姿を直接お見せできないことはたいへん心苦しいですが、これからも生徒たちのことを日々温かい目で見守っていただければと思います。



#### ◇「HIRO Cup」(1年生体育大会代替行事 10月13日)

1年担当：渡辺俊一郎、佐久間勇太

今回の体育大会を通じて子供たちは多くのことを学んだと思います。なかでも私が学んでほしいと一番に思うことは「仲間づくり」です。遊びの中で仲間をつくることの楽しさ、そこでつながった絆の太さを実感してほしいです。LINEや会話の中で誰かの悪口を言ったり、一緒になって誰かをいじめたりして、つながった友達の縁はちょっとしたことで切れてしまう、もろいものだという事を知ってほしいです。

当日は実行委員の仲村さん、村野さん、清水さん、蒲谷さん、吉田さん、菅野さん、成田さん、助川さん、谷岡さん、松山さん、金さん、椋谷さん、菊永さん、瀧澤さん、菅原さん、橋本さん、森合さん、大堀さん、金子さんを中心に、楽しく活動ができました。また子供たちは実行委員の指示をよく聞いて、素早く動いていました。そのかいあって、大幅に時間に余裕ができたのでレクリエーションを1つ追加することができました。



10月は文歌祭、体育大会、校外学習と行事が目白押しで、子どもたちも大変だったと思います。特に実行委員で活動していた子供たちは、昼休みや放課後に何度も集まって、準備に尽力していました。そのおかげで、文歌祭も体育大会も大成功を収めることができました。ご家庭でもお話を聞いていただき、ねぎらいの言葉をいただけると幸いです。



#### ◇今後の予定について

11月16日～18日	秋テスト
12月3日～8日	3年生 進路面談
12月15日～18日	1, 2年生 個人面談
12月25日	終業式
1月6日	始業式
3月11日	卒業証書授与式 (改めて御案内します)

#### <お知らせとお詫び>

校内の感染予防対策として密を避けるために、2学期に予定していた公開授業ならびに土曜参観の開催を見合わせました。保護者・地域の皆さまには、校内で授業する生徒の様子を御覧いただけず心苦しく感じます。コロナ禍による判断に御理解をいただきますようお願い申し上げます。